

# 夏の高校野球パーフェクトガイド2016

北海道・東北

関東

北信越

東海

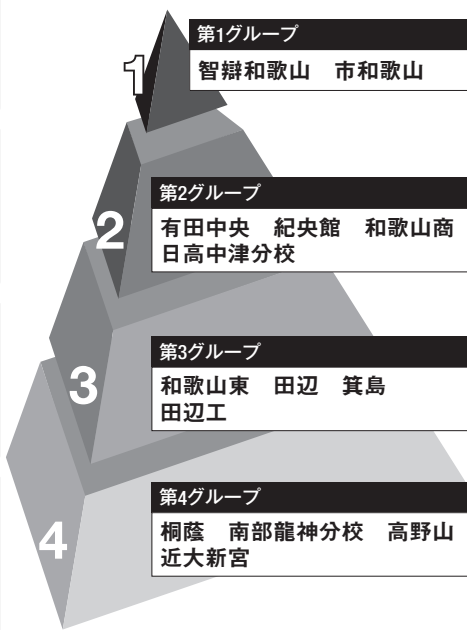
近畿

中国

四国

九州・沖縄

## 地区勢力ピラミッド



## 秋季大会

|        |    |
|--------|----|
| 市和歌山   | 11 |
| 田辺工    | 3  |
| 和歌山北   | 1  |
| 和歌山東   | 2  |
| 和歌山商   | 5  |
| 日高中津分校 | 1  |
| 智辯和歌山  | 6  |
| 高野山    | 4  |
|        | 2  |
|        | 6  |

優勝 市和歌山

## 春季大会

|        |   |
|--------|---|
| 有田中央   | 7 |
| 田辺工    | 3 |
| 紀央館    | 0 |
| 南部龍神分校 | 2 |
| 市和歌山   | 9 |
| 日高中津分校 | 6 |
| 智辯和歌山  | 2 |
| 日高     | 1 |
|        | 1 |
|        | 2 |
|        | 8 |
|        | 2 |

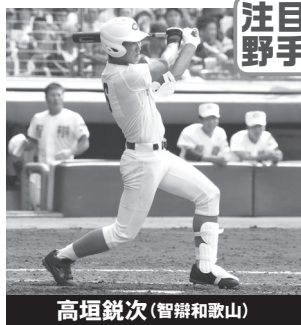
優勝 智辯和歌山

## 大会展望 智辯和歌山と市和歌山の一騎打ち

春季大会で優勝を果たした智辯和歌山が今大会の有力な候補。野口、高垣、平田などの中心選手はもちろんだが、紹介しきれなかった3年生も強力なメンバーが揃っており、層の厚さが光る。この智辯和歌山と争うのがエース・赤羽を擁する市和歌山。ベンチには2番手・栗栖も控えており、投手陣だけで言えば県下一と言える。和歌山商は西口・山口のバッテリーに注目。春季大会で決勝まで進んだ紀央館も面白い存在。2強の消耗次第では一気浮上のチャンス有。

## 元プロ2軍監督が高校野球の世界に！

日本ハム・オリックスなどで2軍監督を務めた岡本哲司氏（元日本ハムほか）が今春に新設された和歌山南陵の監督に就任。日本ハム時代は糸井嘉男、田中賢介、小谷野栄一などの選手を受け持った経歴がある指導者だけに、その手腕に期待がかかる。近年は「学生野球資格回復制度」の誕生により、プロ野球を経験した選手や指導者が高校野球に携わることも多くなってきた。プロと高校の違いに戸惑うこともあるだろうが、どのような指導をするのか。今夏の初試合は要注目！



高垣鋭次（智辯和歌山）

注目選手

立つことがあるのか注目。

いきなりの三塁打を放った場面は記憶に新しい。野口の長打力と果敢に次の塁を攻める姿勢が現れた印象的な一打だった。

投手陣で紹介した西口とバッテリーを組むのが山口昂也（和歌山商）。「鉄砲肩」と表現したくなるような肩の持ち主で、コントロールもいい。打つ方ではツポにはまれば長打を放つパワーがある。確実性が上がってくれば面白い。

守備のうまさも光る遊撃手は田上諒介（田辺工）。安定したスロージンクと守備範囲の広さは和歌

山随一。まんべんなく打球を打ち分けることもでき、打撃面の技術も光る。同じく内野手では、富山海（箕島）も注目したい。2年生だった昨年は158センチという小柄な体格ながら、守備・走塁面でセンスを見せつけた。体が成長した今季はどのようなプレーを見せてくれるのか。

他では上山怜央（桐蔭）も気になる存在。昨季も2年生ながら和歌山県大会記録となる7打席連続安打を放つなど、あふれる才能をいかに発揮していた。同校の梅本翔馬も166センチながら遊撃手として俊敏な動きを見せる。昨年は投手兼任の「二刀流」だったが、今夏の大会でもマウンドに立つことができるのか注目。